

## 高純度マグネシウム

## ピュアマグ® 開発

タテホ化学工業はこのほど高純度酸化マグネシウム「ピュアマグ®」を開発、販売を開始した。これは厳選した原料に同社の特別な精製技術を駆使し、99・99%以上の高純度製品を開発した。市販されている酸化マグネシウムの中で最も高純度である。不純物を殆んど含まず、また、一次粒子はサブミクロンの単分子で高い分散性を持つのが特長である。このため、各種添加剤や電子材料、蛍光体原料、触媒材料などの様々な用途に使える。

酸化マグネシウムは酸化物の中で最も融点が高く(3998K)熱導電性や電気絶縁性に優れているため過酷な条件下での耐火物に使用され、特に酸化アルミニウムに比べて適合する金属が多い。ピュアマグ®を用いた坩堝は高純度のため不純物混入を低減し、緻密のため蒸気等を通さないののである。また酸化マグネシウムはNaCl

結晶構造を有しており、TMR(トンネル磁気抵抗)素子で必要不可欠な材料となっている。その他の薄膜形成用途では基板材料と薄膜材料の結晶格子の整合性向上や化学反応抑制のため中間層(バッファ)としてつかわれる。ピュアマグ®のターゲットは高純度のため薄膜形成においても不純物の混入を低減することが可能である。このため、ピュアマグ®も成型品としてピュアマグ®ルツボ、ピュアマグ®ターゲットを同時に製品化している。



ピュアマグ® (上:ルツボ、下:ターゲット)

日本海水が作った

日本海水

# Salt Life Book

“きちんと知りたい!お塩のこと。”「Salt Life Book」と名付けられた小冊子を日本海水がまとめている。副題に、『わたしたちの暮らしにかかせないお塩のこと。でも意外に知らないお塩のこと。使い方や選び方をきちんと知って、毎日の暮らしに役立てましょう。』とあり、全24ページに可愛らしいイラストで「塩」の体内での役割、安全性、製塩法、風味、料理の使い方、秘密などが詰まっている。

意外に知らない、とあるように塩について間違った知識を持っていることが実感できる。例えば、減塩しても高血圧対策にならない人が6割もいて、多すぎてもすくなくとも困ることや日本が実は塩づくりに不向きであったこと、イオン交換膜法が世界で評価される安全性に優れた製塩法であるなどが書かれている。中でも市販されている外国産の塩が持つ危険性についてはいかに間違った情報が蔓延しているかを認識させる。

この小冊子をよめばいかに日本の塩が安全でありもっと有効に使わなければならないことを認識させることになるのは間違いない。

